

[高知県版第2弾] 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要

今回、震度分布・浸水予測を公表する目的

- 内閣府が8月に公表した**最大クラスの地震・津波をベース**に、最新の地形データや構造物データを反映した精緻な推計を行い、**県が進める南海トラフ巨大地震対策の根幹とするため！**
- 地震発生直後の県民の皆様の生命を守ることに直結する、津波避難対策や災害時における医療救護活動、総合防災拠点の整備などは**最大クラスの地震・津波に対して備える！！**
- 応急、復旧・復興対策については、最大クラスに加え、**発生頻度の高い地震・津波も視野に入れた対策の検討を行い、対策に幅を持たせて備える！！**

今回、公表する震度分布・津波浸水予測の性格

最大クラスの地震・津波

- ・現時点の最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの震度分布・津波浸水予測を推計したもの
- ・現在の科学的知見では、発生時期を予測することはできないが、その発生頻度は極めて低いもの

震度分布予測

1) 推計の条件

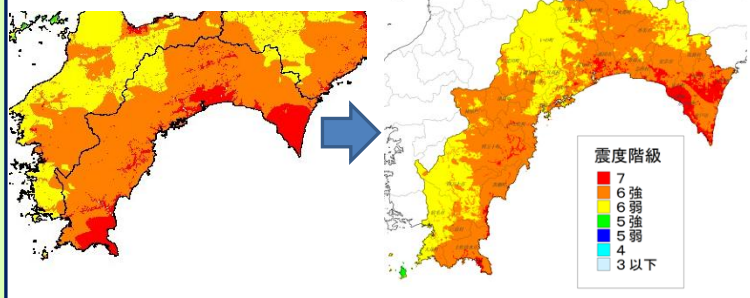
- 内閣府の**4ケース**の強震断層モデルにより推計
- 県内の地震観測点における過去の**地震記録(87記録)**やボーリングデータ(9,742本)により、**地盤の特性を詳細に反映したモデル**により推計

2) 震度分布

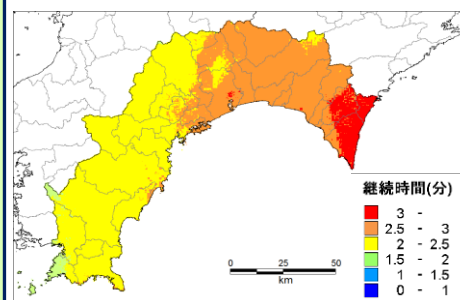
【8.29 内閣府公表】
震度7 : 30市町村
震度6強 : 4町村

【12.10 高知県公表】
震度7 : 26市町村
震度6強 : 8市町村

- ・震度7 ⇒ 震度6強 : 宿毛市、本山町、土佐町、梶原町、津野町
- ・震度6強 ⇒ 震度7 : 馬路村

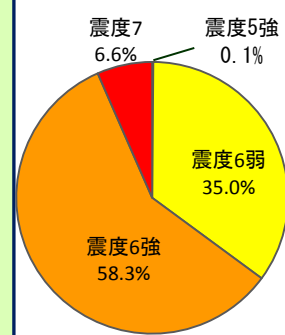


3) 地震継続時間分布

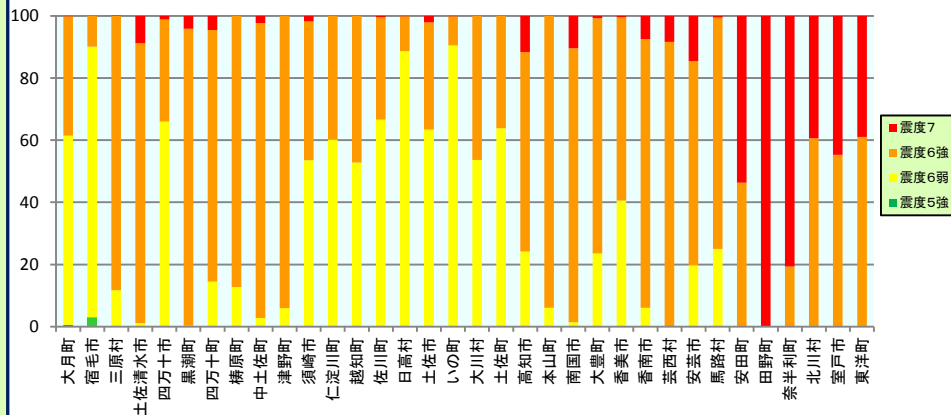


破壊開始点に近いほど、揺れの継続時間が長くなる
※破壊開始点は紀伊半島の南
※地震継続時間は、震度3相当以上の揺れの継続時間

4) 最大震度の占める面積割合



5) 最大震度の占める面積割合 (市町村単位)



津波浸水予測

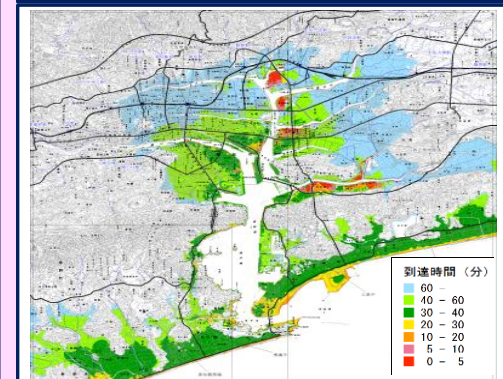
1) 推計の条件

- 内閣府の**11ケース**の津波断層モデルの内、高知県沿岸で最大の津波高が発生する**6ケース**により推計
- 最新の地形データなどを反映し、より精緻な推計を実施
 - ・最新の地形測量データを反映(昨年度の国土地理院の航空測量結果などを反映)
 - ・一級河川6河川、二級河川152河川を河川としてモデル化
 - ・河口幅50m以上の河川(一級河川6河川、二級河川40河川)は、水が流れている条件にて津波の遡上を計算

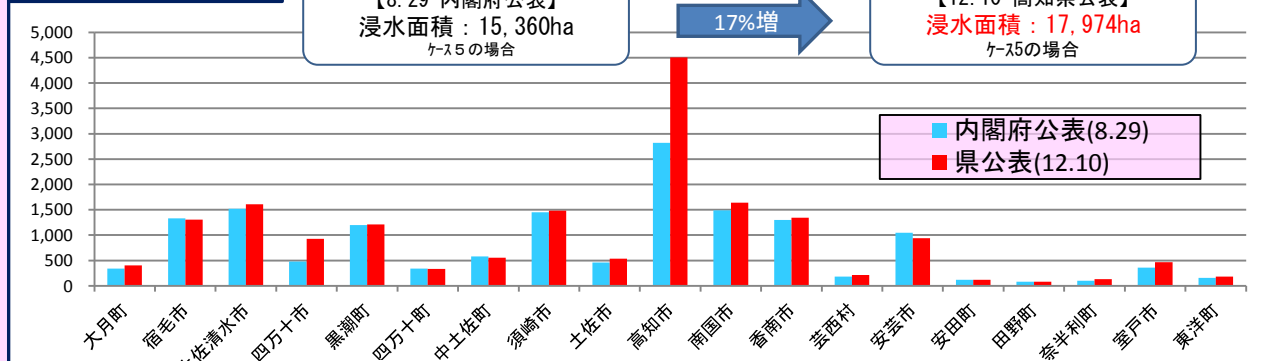
2) 市町村庁舎付近の最大浸水深

名称	最大浸水深 (m)	到達時間 (分)	
		最大浸水深	浸水深30cm
東洋町役場付近	5.0	39	24
室戸市役所付近	4.5	33	26
奈半利町役場付近	4.0	52	17
田野町役場付近	4.0	53	48
安芸市役所付近	6.5	100	68
高知市役所付近	0.5	304	302
中土佐町役場付近	10.0	42	26
黒潮町役場付近	7.5	125	29
土佐清水市役所付近	3.5	34	33
宿毛市役所付近	7.0	46	36

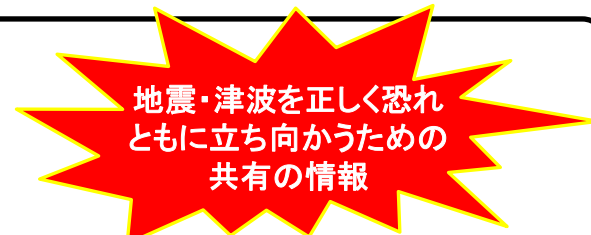
3) 津波浸水予測時間 (浸水深30cm)



4) 津波浸水面積



※今回、高知県が公表する10mメッシュの推計では、ケース5の場合に浸水面積が最大となるため、ケース5と比較している。
※内閣府の推計は、津波が堤防を越流した時点で堤防が破壊する条件により推計している。



※今回は発生頻度の高い地震・津波も併せて推計
平成15年度に県が公表した地震・津波予測(安政南海地震クラス)を最新の地形地盤データにより、再度推計したもの

これらの想定を、南海トラフ巨大地震対策の根幹として防災・減災対策を推進